

全豊田山行報告書			報告者	渡辺	参加メンバー	CL 鈴木よ、SL 館谷 装備 谷口、食事 岸上 会計 石川、記録 渡辺
			報告日	5 / 12		
山域	北アルプス	山行日	4/9(土)～4/10(日)			
山名	西尾穂高岳					
山行目的	雪上訓練	コースタイム(天候:天気図記号)				

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者

## ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

1日目 快晴:○

4:30 本社駐車場  
8:30 新穂高ロープウェイ  
11:00 西穂高山荘  
訓練  
16:00 西穂高山荘

2日目 快晴:○

6:00 西穂高山荘  
7:30 西尾独標  
9:00 西穂高山荘  
10:00 西穂高口駅  
10:30 新穂高ロープウェイ  
13:45 昼食  
14:45 ひるがの高原SA  
17:00 本社北駐車場

## 〈山行報告〉

4:30に本社北駐車場に集合。鈴木カーと谷口カーの2台で新穂高バスターミナルに向かう。高山方面はまだまだ気温が低く、刈谷では既に散った桜も綺麗に咲き誇っていた。新穂高温泉駅から西穂高駅のロープウェイは往復で3,000円だったが、売店で使える3,000円分の商品券付きのお得なセットが数量限定で販売されていたため実質荷物代(600円)のみで乗ることができた。ロープウェイを降りて少し歩いたところで各社と合流し、一緒に西穂高山荘に向かう。雪はたくさん積もっているが、天候は快晴で登り始めは少し暑く、ウィンドシェルは使わないと思って車に置いてきたことを少しだけ後悔したが、上の方は気温が少し下がり西穂山荘あたりはちょうどいいくらいの気温とだった。

開会式をして各社雪上訓練を実施する。最初は壺あし歩行で斜面を登る。ハイマツの周辺は沈む箇所もあったが概ねしっかりした地面で歩きやすかった。足場の安定した箇所ではピックルをT字に埋めるセルフビレイやスタンディングアックスビレイも体験。セルフビレイは3人で引っ張っても微動だにせず強固であった。その他スノーボラードや雪洞掘りも実施した。掘った雪洞はそのまま埋没訓練に活用をした。少し埋まる程度の量の雪が乗っているだけでも体は全く動かさず、雪崩に巻き込まれたとき自力での脱出は不可能だと理解した。ゾンデ棒で人を刺したときの感触を確かめることができ貴重な体験となった。

2日目は西穂独標を目指して山を登る。途中から岩肌が見える箇所も増えていき、切り立った道となり緊張感が高まる。安全に気をつけながら歩を進め、独標に到着。下山は夏道を外れてまっさらな雪の上を歩いた。西穂山荘に到着して、間もなく各社の下山が確認できたため全豊田は解散した。今回の訓練では様々な体験ができ、参加して本当によかった。今後も練習をして忘れないようにしたい。

## 〈リーダー所見〉

両日ともに天気に恵まれ例年よりも多くの訓練ができました。緊急時の対応での個人用の雪洞の掘り方は、体験しておいてよかったと感じました。雪上で多くのロープ支点の方法等メンバーの今後の山行に活かせると良いです。

確認  
(リーダー)  
鈴  
22/05/11  
木

作成  
(報告者)  
渡  
22/05/11  
辺



